

～ 一歩前進の未来へ ～

知ってほしいなあ！わたしたちの障がいのこと

令和3年8月発行 No.1

～はじめに～

障がいのある本人や障がいのある子を持つ保護者等で組織する「大田原市地域自立支援協議会当事者部会」におきまして、広報紙を発行することになりました。

この広報紙を通して、市民の皆様に様々な障がいについて知ってもらい、差別や偏見が少なくなっ
てほしいと思います。

○精神障がいをご存知ですか？

精神障がいには、うつ病、統合失調症、薬物やアルコール依存症などがあります。事故
や病気等により脳が損傷してしまい、認知機能に障がい起きてしまう高次脳機
能障害も含まれます。

精神障がいは「気持ちの持ちよう」ではなく、「脳の病気」が生じていると、周
りの方が理解することが大切です。



○統合失調症の方のお話○

～自分の障がいについて～

19歳の時に、統合失調症になり、幻覚や妄想・幻聴など、今でもいつでも症状が出
てきます。疲れがたまってくると、心も体もオーバーヒートしてしまい、入院もした
りします。春先もテンションが上がったりして、眠くなったりもします。

地震などの災害があった時、誰かから「助けてほしい」などと呼ばれている錯覚が
あります。

～してもらえると助かる！うれしいこと～

症状が出ているときに、現実を教えてくれて、現実に引き戻してくれる方がいると
助かります。

障がいを個性と割り切ってくれる方が稀にいます。とてもうれしいです。

～されると嫌なこと・困ること～

「楽そうだね」、「病気に見えないよね」など言われると、つらい時もあります。

○双極性感情障害Ⅱ型の方のお話○

～自分の障がいについて～

双極性感情障害Ⅱ型で、うつの状態で感情が上がったり、下がったりしてしまい
ます。

～してもらえると嬉しいこと～

うつであることを理解してくれることがうれしいです。

～嫌なこと～

具合が悪い時は寝ています。トイレも這って行くほど大変です。見た目は普通な
ので、寝ていると怠けていると言われるのが嫌です。



○統計○【手帳保持者：令和3年3月31日現在、大田原市の人口：令和3年4月1日現在】

・精神保健福祉手帳を持っている方

1級 112人、2級 357人、3級 89人（合計 558人）

・割合

精神保健福祉手帳保持者／大田原市の人口

558人 / 72,899人 ⇒ 市の人口の約0.8%が精神保健手帳保持者